



ミュンヘン工科大学

Technische Universität München



●学部学生 23,000人 ●大学院生 13,000人 ●教職員 10,000人 ●留学生 7,200人

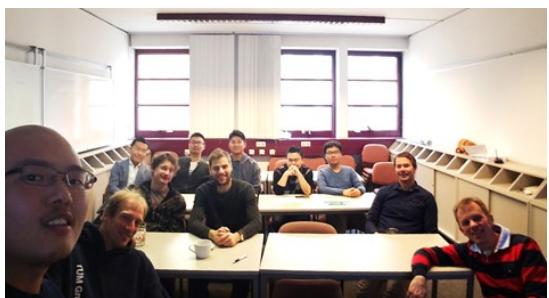
ホームページ <https://www.tum.de/>

交流協定締結年月日：2002年2月13日 主管学部：創造工学部



国際交流の特色

1868年に創設されたミュンヘン工科大学は、名前が示すとおりミュンヘンを拠点に3つのキャンパスを持つ。ノーベル賞受賞者も多数輩出している著名な大学で、自然科学・工学・医学・生命科学のすべての分野を網羅し、大学病院も併せ持っている。学部と修士課程に70以上の課程が設けられている。ドイツ国内の大学の中でも、研究費や外国からの研究者受入数で、トップランクにある。30,000名の学生が在籍し、そのうち留学生数は4,500名、つまり全学生の約18%が留学生にあたる。国際協定校は世界中に130以上あり、国際化に向けての努力も続けている。これまで宇宙ロボットなどで技術交流を実施しており、2012年秋には、16名の学生グループによる協定校訪問も実現した。



研究室メンバー



3人で1部屋の研究室を使用



実験室

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度 受入・派遣	R4	R5	R6
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0

学生からの声

私はミュンヘン工科大学（TUM）にて5ヶ月間、機械学習プログラムの開発・実装を行いました。現地の博士研究員は、学生ではなく「被雇用者」という立場になるため、仕事として研究を行っています。そのため、研究に対する意識が非常に高く、同じ環境で研究活動を行う上でとても刺激を受けました。TUMはヨーロッパだけでなく世界でもトップレベルの大学として知られており、多くの留学生が在籍しているため、様々な国の学生と文化交流をすることが出来、研究以外の面でも自身の視野を広げるには適した大学だと感じました。ミュンヘンは治安が良く、住みやすい都市だと思います。また、博物館や美術館も数多くあるので、休日中も有意義に過ごせる土地だと思いました。

工学研究科 知能機械システム工学専攻 北崎 友哉